令和5年度・第8回農業委員会総会議事録

開催日 令和5年11月27日(月) 13:00～14:30

開催場所 樋脇公民館 第1～第3会議室

出席委員(18名)

議席番号	委員名	議席番号	委員名	議席番号	委員名
1	中原 良治	2	谷山 隆信	3	薬師寺 しげ子
4	新屋 純子	5	牧田 信一	6	小城 義己
7	木場 祐二郎	8	中島 弘和	9	下茂 正憲
10	木下 博英	11	乙須 紀文	12	有馬 康夫
13	永留 智史	14	山路 一浩	15	西 裕一郎
16	小園 光男	17	磯道 博和	18	梶原 拓二
19	別府 生次				

欠 員 (0名)

欠席委員 (1名)

遅刻委員 (0名)

出席推進委員 (20名)

議席番号	委員名	議席番号	委員名	議席番号	委員名
21	山下 武徳	22	福壽 久雄	23	濱田 義博
24	春田 実	25	上小川 文男	26	大田 実角
27	鶴屋 賢了	28	廣庭 吉辰	29	中川 大樹
30	馬渡 義文	31	田中 浩徳	32	竹田 栄次
33	永吉 康之	34	徳永 正幸	35	徳永 功
36	鬼塚 幸男	37	豊田 孝之	38	古川 梓
39	高木 成寛	40	早崎 麻美子	41	辻 孝一郎

欠席推進委員 (1名)

事務局出席者 平局長・西局長代理・杉安主幹・梶原主幹・田上G員・
長沼G員・富士代職員

薩摩川内市農業委員会会議規則第14条の規定によって、ここに署名する。

議長(農業委員会会長) _____ (印)

議事録署名者 _____ 13番 _____ (印)

_____ 14番 _____ (印)

議事録作成者 _____ 局長代理 _____ (印)

令和5年度 第8回農業委員会総会議事録

議事日程「諸般の報告」

5 報告

- 報告第22号 農地形質変更届の専決処分について
- 報告第23号 農地法第18条第6項の規定による合意解約通知の専決処分について
- 報告第24号 非農地証明発行の専決処分について
- 報告第25号 農地転用事実証明願の専決処分について

6 議事

- 議案第85号 農地転用事業計画変更申請の意見について（承継あり）
- 議案第86号 農地法第5条の規定による農地等の所有権移転・売許可申請承認について（知事処分）
- 議案第87号 農地法第5条の規定による農地等の貸借権設定許可申請承認について（知事処分）
- 議案第88号 農地法第5条の規定による農地等の使用貸借権設定許可申請承認について（知事処分）
- 議案第89号 非農地証明願承認について
- 議案第90号 農地法第3条の規定による農地等の所有権移転・売許可申請承認について
- 議案第91号 農地法第3条の規定による農地等の所有権移転・贈許可申請承認について
- 議案第92号 農用地利用集積計画案（利用権設定）の意見決定について
- 議案第93号 農用地利用集積計画案（農地中間管理権設定）の意見決定について
- 議案第77号 農地法第5条の規定による農地等の貸借権設定許可申請承認について（知事処分）（保留分）
- 議案第82号 農地法第3条の規定による農地等の地上権設定許可申請承認について（保留分）

7 その他

- (1) 現地調査及び総会の日程等について
- (2) その他

【開始 13 : 00】

会 長 皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、総会にご出席くださ
いまして誠にありがとうございます。

そして、今月7・8日の栃木県足利市研修、13・14日の女
性九州・沖縄ブロック研修会、21・22日の山口県三洋小野田
市の研修に行かれた皆様本当にご苦労様でした。

私は栃木県足利市に行ったのですが、悪天候による航空機の遅
延のため、少し遅れて昼食会場をキャンセルしなければならない
という痛い思いをしました。代わりに弁当を食べて研修に望んだ
のも一つの勉強になりました。

大変ご苦労様でした。

そして、11月6日に常設審議会に行きまして、市町村から
15件の申請がありまして、珍しい18条解約というのがありま
して私も驚いたところでした。

そして4条が15件、5条が35件出ました。今回、営農型太
陽光発電の転用申請はありませんでしたが、畜産の基盤強化法に
よる申請が多いようです。特に離島がやる気があるように感じま
した。

そしてその後に会長と女性農業委員と語る会で色々と審議い
たしました。薬師寺委員も色々と意見を言っていただきましてあ
りがとうございました。

19日は産業祭&JAフェスタは沢山のご来場をいただきあ
りがとうございました。

前後しますが、10日に鹿児島県各市農業委員会連絡協議会が
志布志文化会館で開催され、事務局長と出席いたしました。

各市の委員会の問題点が審議されまして、薩摩川内市はあまり
問題はなかったですが、他の市は問題を抱えているようです。

今年もあと一か月しかありませんが、皆様と良い年を迎えられ
るように願ひまして私の挨拶とさせていただきます。

議 長 ただ今から、第8回薩摩川内市農業委員会総会を開催いたしま
す。局長に委員の出席状況を報告させます。

局 長 委員の出席状況について、報告いたします。

定数19名、現在員数19名、出席委員18名、欠席委員は1名
で2番：谷山隆信委員であり、欠席届が提出されております。

なお、本日出席の農地利用最適化推進委員は20名で、欠席委
員は1名で37番：豊田孝之委員であり、欠席届が提出されてお

ります。以上で報告を終わります。

議長 お聞きのとおり、本会は農業委員等に関する法律第27条第3項の規定により、出席委員は過半数に達しているため有効に成立いたしました。それでは本日の総会を、会次第により進めて参ります。

まず、主要事務処理経過報告について、事務局の説明をお願いします。

局長代理 主要事務処理経過報告について説明いたします。

総会資料の1ページをご覧ください。

1月2日に令和5年度鹿児島県農業経営者クラブ中央農業情報懇談会がJA会館で開催され、谷山委員が出席されています。

1月6日は常設審議委員会がアートホテルかごしまで開催され、会長が出席です。同じく同日に女性農業委員と農業委員会会長との意見交換会が開催され、会長、薬師寺委員が出席されています。

7日から8日にかけて薩摩川内市農業委員会先進地研修が栃木県足利市で開催しております。

9日と10日が定例の現地調査です。9日に鹿児島県各市農業委員会連絡協議会が志布志文化会館で開催され、会長、事務局長が出席されています。

また、13日から14日にかけて九州沖縄・ブロック研修会が熊本県ANAグランドプラザホテルで開催され、3名の女性委員が出席されています。

15日が第2回農業委員会だより編集委員会と第7回運営委員会が本庁舎502会議室で開催されています。

19日が産業祭&JAフェスタが薩摩川内市総合運動公園で開催されています。

21日から22日にかけて薩摩川内市農業委員会先進地研修が山口県山陽小野田市で開催されています。

そして、本日第8回農業委員会総会が樋脇公民館で開催となっています。以上、説明を終わります。

議長 主要事務処理経過報告が事務局よりございました。

初めに、6日の女性農業委員と農業委員会会長との意見交換会及び13日から14日の九州沖縄・ブロック女性農業委員・推進委員研修会について、薬師寺委員から報告をお願いいたします。

薬師寺委員

3番薬師寺が11月6日に女性委員と農業委員会会長との意見交換会に出席いたしましたので報告いたします。

13名の農業委員会会長と女性委員12名、事務局3名の出席でした。

今年度は、県内30、農業委員会で改選を迎え農業委員6名、推進委員10名で16名増え、132名になり農業委員に占める女性の割合は16パーセントになりましたが、鹿児島市が農業委員・推進委員が居ないという現状のため、次の改選時には促進をお願いしたいということが課題になりました。

協議内容としましては活動記録強化目標で令和4年度実績は平均8.6日で1,040人中460名、目標達成率は44パーセントだったそうです。

鳥獣被害・総点検・一期一会活動・地域計画達成について・タブレット活用など、今自分達の活動で思っている事など2時間の時間内でしたが会長さんとの意見交換会が行われました。

次に、11月13・14日に熊本市で令和5年度九州沖縄ブロック農業委員会女性委員研修会に、新屋委員、早崎推進委員、事務局田上職員4名で出席しましたので報告いたします。

344名出席で、鹿児島県から41名出席しました。

全国で1,696委員会があり、7割にあたる1,185農業委員会が改選年で女性農業委員が1名もいないが200委員会で、前回より52委員会増にはなっていますが次は増えるように女性の農業委員数は286名増で3,182名、推進委員は86名増で647名、女性割合17.4パーセントです。

国の女性登用目標である令和7年度までに女性割合を30パーセントにする。女性の農業委員が一人もない農業委員会を0（ゼロ）にする、女性委員の増量についての行政報告がありました。

玉名市農業委員会とチョコちゃん劇団で寸劇があり、その後39のグループに分かれワークショップがあり、話し合いのテーマを決め自己紹介から始まり、他県の委員さん達と話し合い情報共有し全体会で発表するまでの勉強会でした。

令和6年度は佐賀県で開催される予定です。

和気あいあいと良い研修会に参加させていただきありがとうございます。終わります。

議 長 次に、7日から8日の薩摩川内市農業委員会先進地研修について、小園代理より報告をお願いいたします。

小園代理 16番 小園が足利市の研修会を報告いたします。

11月7日から8日まで、農業委員・最適化推進委員17名と事務局2名で栃木県足利市農業委員会を研修に行ってきました。

最適化活動については月13日を目標に農地の集積・集約等に取り組まれており、足利市の集積率が51.6パーセントと高い成果を出されています。

最近では鳥獣について猪・猿もさることながら、最近では熊がすぐそこまで出没するとの事で大変頭を抱えているようでした。

女性農業委員は3名から1名増えて、現在4名の農業委員で構成しており職業活動や家族協定の推進など取り組んで女性委員の品質向上に努めているとのこと。

今回の足利市の研修を活かして今後の農業振興に取り組んでいければと思っています。

以上で、栃木県足利市の研修報告とさせていただきます。

議 長 次に、21日から22日の薩摩川内市農業委員会先進地研修について、下茂代理より報告をお願いいたします。

下茂代理 9番、下茂が報告いたします。

11月21日～22日にかけて農業委員・最適化推進委員17名と職員2名で山口県山陽小野田市農業委員会を研修いたしました。

山陽小野田市は人口が60,326人農家戸数は710戸農業委員14名農地利用最適化推進委員14名で、14地区を農業委員・農地利用最適化推進委員と協力しながら最適化活動を行っているそうです。

農業の概要ですが、水稻がメインで特産品としては寝太郎かぼちゃを推進しております。

最適化活動につきましてははひと月10日以上を目標とし、可能であれば13日以上活動を行うこと。毎月最適化会議を開催し、活動記録簿から活動状況や問題・課題点の意見交換等を行っております。

山陽小野田市は平成29年7月から新体制へ移行しましたが、その時の農業委員会会長がリーダーシップを取り、国による農地情報公開システムをいち早く導入し、既存農地台帳からデータ移行を図り業務を遂行されておりました。

また本市と同様、農業委員・最適化推進委員全員がタブレットを

持ち、最適化活動に利用する他に、令和5年1月より総会等の資料のペーパーレス化を実施しております。今皆さんのお手元にある議案などの資料はないという事になります。

タブレット研修は3コースに分け研修を重ねて来られ、現在では委員全員が操作出来るようになったそうです。また、委員等の間で操作等をフォローするなど取り残さない取組みを実施しておられました。

利用状況調査の入力も独自で管理している項目も入力しやすいようにアプリを事務局で作成して利用しておられました。

バスで新山口から山陽小野田市へ向かう途中、バスガイドの説明で干拓地を農地として利用していると説明を受け、瀬戸内海側では古くから対策として農地整備が行われていたとのことでした。

山陽小野田市での研修をいかして今後の農業委員会の活動に努めていければと思っています。

また研修中参加の皆様方のご協力のもと、事故もなく研修が無事に成功に終わりましたことをここにご報告いたします。

以上で山口県山陽小野田市研修のご報告とさせていただきます。

議長 それでは、ただいまの報告につきまして、皆様方から何か御質疑ございませんか。

委員 (なしの声あり)

議長 「なし」ということですので、主要事務処理経過報告を終ります。

次は、議事録署名者の選任ですが、こちらの方で指名してよろしいでしょうか。

委員 (はいの声あり)

議長 ご異議ございませんので、

13番：永留 智史 委員

14番：山路 一浩 委員にお願いいたします。

それでは、さっそく、会次第5の報告に入らせていただきます。

まず、報告第22号「農地形質変更届の専決処分について」を議題とします。

事務局の内容説明をお願いします。

局長代理 報告第22号を説明いたします。資料は2ページをご覧ください

い。位置図、調査表は備考欄をご参照ください。

今月の申請は、受理番号14番から15番の2件です。登記地目 田1筆 380㎡、畑2筆 630㎡、合計3筆 1,010㎡の届出がありました。

内容といたしましては、受理番号14番は盛土して、畑のため、15番は切土し、田のための届出です。

従いまして、現地調査の結果、被害防除計画に妥当性があると認められることから、薩摩川内市農業委員会 農地の形質変更に伴う周辺農地等への被害防止対策実施要領3の規定により、処理いたしましたので報告いたします。

以上で、報告第22号に係る説明を終わります。

議長 　　ただ今、事務局より報告第22号の説明が終わりました。これにつきまして、御質疑、御意見はございませんか。

委員・推進委員 (なしの声あり)

議長 　　質疑がありませんので、報告第22号を終ります。

次に、報告第23号「農地法第18条第6項の規定による合意解約通知の専決処分について」を議題とします。

事務局の内容説明をお願いします。

局長代理 　　報告第23号を説明いたします。資料は3ページから4ページをご覧ください。

今月の合意解約は受理番号41番から45番までの5件です。登記地目 田5筆 7,088㎡、畑3筆 2,319㎡、合計8筆 9,407㎡の合意解約通知がありました。

このうち、農地流動化促進事業補助金の返納は受理番号43番です。

薩摩川内市農業委員会規則第5条第1項第3号の規定に基づき、処理いたしましたので報告いたします。

以上で、報告第23号に係る説明を終ります。

議長 　　ただ今、事務局より報告第23号の説明が終わりました。これにつきまして、何か御質疑、御意見はございませんか。

委員・推進委員 (なしの声あり)

議長 　　質疑がありませんので、報告第23号を終ります。

次は報告第24号「非農地証明発行の専決処分について」を議題とします。

事務局の内容説明をお願いします。

局長代理 報告第24号を説明いたします。資料は5ページをご覧ください。

今月の証明発行願いは、受理番号71番から74番までの4件で、登記地目 田7筆8,236㎡、畑1筆434㎡、合計8筆8,670㎡の証明発行願が提出されました。

非農地の議決内容につきましては、備考欄の議決日、議決番号をそれぞれご参照ください。

何れも農地法第2条第1項に規定する農地では無いことを証明する非農地判断議決済みであり、申請には妥当性があると認められることから、薩摩川内市農業委員会非農地証明書の発行基準5の規定により処理いたしましたので報告いたします。

以上で、報告第24号に係る説明を終わります。

議長 ただ今、事務局より報告第24号の説明が終わりました。これにつきまして、御質疑、御意見はございませんか。

委員・推進委員 (なしの声あり)

議長 質疑がありませんので、報告第24号を終わります。

次に、報告第25号「農地転用事実証明願の専決処分について」を議題といたします。

事務局の内容説明をお願いします。

局長代理 報告第25号を説明いたします。資料は6ページをご覧ください。

今月は、受理番号11番の1件で、登記地目 畑1筆2,745㎡の農地転用事実証明願が提出されました。薩摩川内市農業委員会規則第5条第1項第4号の規定に基づき、会長が専決処分を行いましたので報告いたします。

許可年月日、転用目的については、それぞれご参照ください。

いずれも、転用目的どおり実行されていますが、現在まで不動産登記法に係る地目の変更登記がされておらず、今般地目の変更登記に必要な転用許可証を紛失されており、当該証明願いが提出されたものです。

なお、現地確認については、乙須 紀文 委員が調査され、転

議 長 　　ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、事前に申請地の
現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

乙須委員 　　1 1 番 　乙須が、1 0 2 から 1 0 6 番を報告します。
調査日・調査員は先ほどのとおりです
1 0 2 番は、位置図 5 ページ、調査表 4 ページをご覧ください。
申請地の現況は、畑で保全管理されていました。
1 0 3 番は、位置図 6 ページ、調査表 5 ページをご覧ください。
申請地の現況は、畑で耕作されていませんでした。
1 0 4 番は、位置図 7 ページ、調査表 6 ページをご覧ください。
申請地の現況は、畑で保全管理されていました。
1 0 5 番は、位置図 4 ページ、調査表 3 ページをご覧ください。
議案第 8 5 号 2 番と同時申請になります。
申請地の現況は、畑で耕作されていませんでした。
1 0 6 番は、位置図 8 ページ、調査表 7 ページをご覧ください。
申請地の現況は、田で耕作されていませんでした。
それぞれ、申請書に添付してあります被害防除計画書には妥当
性があり、現地調査の内容は、調査票に記載してあるとおりです。
以上のことから、申請は、農地法関係法令には抵触せず許可相
当と判断しました。以上です。

議 長 　　ただ今、調査員の報告が終わりました。
質疑に入ります。御質疑ございませんか。

委員・推進委員 　　(なしの声あり)

議 長 　　ないようですので、一括して採決いたします。
議案第 8 6 号については、原案のとおり許可相当と意見決定す
ることに賛成の方の挙手を求めます。

全 委 員 　　(挙 手)

議 長 　　賛成全員であります。議案第 8 6 号は、原案のとおり承認され
ましたので、許可意見を付して鹿児島県知事に書類を進達するこ
とに決定いたします。

次に、議案第 8 7 号「農地法第 5 条の規定による農地等の賃
借権設定許可申請承認について」を議題とします。

事務局の内容説明をお願いします。

梶原 G 長 議案第 87 号を説明いたします。資料は 10 ページをご覧ください。農地判定の根拠及び位置図・調査表につきましては、備考欄をご参照ください。

今月の申請は、受理番号 107 番及び 108 番の 2 件で、登記地目 畑 4 筆 1,452 m²の申請がありました。

内容について説明いたします。

107 番は、申請地の借り受け、駐車場を整備するものです。なお、一部施工済のため、始末書が添付されています。

108 番は、申請地を借り受けて、高速道の法面の災害普及工事のための資材置場（一時転用）です。当該地は、利用権で利用されておりますが、耕作者から農地転用同意を受けており、申請に添付されています。また、工事完了後、農地復元誓約書が添付されています。

以上 2 件、申請内容を転用許可法令一般基準、各項による書類審査及び現地調査を行い提案いたしました。

以上で議案第 87 号に係る説明を終わります。

議 長 ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、事前に申請地の現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

乙須委員 11 番 乙須が、107 を報告します。

調査日・調査員は先ほどのとおりです

位置図 9 ページ、調査表 8 ページをご覧ください。

申請地の現況は、砂利が敷いてあり、一部施工済のため、始末書が添付されています。

申請書に添付してあります被害防除計画書には妥当性があり、現地調査の内容は、調査表に記載してあるとおりです。

以上のことから、申請は、農地法関係法令には抵触せず許可相当と判断しました。以上です。

木下委員 10 番、木下が 108 番を報告します。

11 月 10 日、福寿推進委員と事務局 梶原・泉職員と現地調査を実施しましたので、報告します。

位置図 10 ページ、調査表 9 ページをご覧ください。

申請地の現況は、現況は畑で管理されておりました。

今般、隣接の高速道路の災害復旧に伴う法面保護工事に伴う資材置場の一時転用です。事務局からの説明のとおり、基盤での利用権設定がされていますが、耕作者の同意を得た上の申請となっております。

以上で議案第88号に係る説明を終わります。

議長 　ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、事前に申請地の現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

木下委員 　10番、木下が109番を報告します。
調査日・調査員は先ほどのとおりです。
位置図11ページ、調査表10ページをご覧ください。
申請地の現況は、現況は畑で管理されておりました。
今般、農地を父から借り受けて、一般住宅を計画しております。
一般住宅の500㎡を超過しておりますが、道路確保のための後退と家庭菜園として利用するための地積超過理由書が添付されています。
申請書に添付してあります被害防除計画書には妥当性があり、現地調査の内容は、調査票に記載してあるとおりです。
以上のようなことから、申請は、農地法関係法令には抵触せず、許可相当と判断しました。

木場委員 　7番、木場が110番を報告します。
11月9日、鬼塚推進委員と事務局 梶原・泉職員と現地調査を実施しましたので、報告します。
位置図12ページ、調査表11ページをご覧ください。
申請地の現況は、現況は畑で耕作されていませんでした。
今般、農地を義父から借り受けて、一般住宅を計画しております。
申請書に添付してあります被害防除計画書には妥当性があり、現地調査の内容は、調査票に記載してあるとおりです。
以上のようなことから、申請は、農地法関係法令には抵触せず、許可相当と判断しました。

議長 　ただ今、調査員の報告が終わりました。
質疑に入ります。御質疑ございませんか。

中島委員 　8番 中島です。
地積超過理由書に添付されている、地積超過理由なのですが、家庭菜園を一部されているということですが、地積超過理由の家庭菜園の上限とか面積があるのでしょうか。

梶原主幹 　基本的に地積超過理由は500㎡を超えるときにつけないといけないのですが、今回申請地の形状が不定形な形をしております

して、分筆しても農地として利用できない為どんな風に利用するかということで今回通路部分の後退と、その分の残りは家庭菜園として活用したいという地積超過理由書が出ています。

理由書の条件というのはないのですが、真に必要な面積なのか、という理由で農地の判断をしますので、例えば過剰的に駐車場を必要台数設けるといのは何のためにこんなに必要かというのを示したうえで超過理由書が認められるというふうになっていますので、農地を農地以外にするというのはその理由が適正か、というのが判断の材料になっています。

今回は形がいびつだったが、分筆しても広くて農地としても使えないということと、幹線道路から入り込んでいた為、なかなか耕作してくれる人もいないこともあって、もらい受ける人が全部を利用するために家庭菜園・庭の一部として利用したいということでの地積超過理由書が付けられているという事です。以上です。

議長 よろしいですか。
他にございませんか。

委員・推進委員 (なしの声あり)

ないようですので、採決いたします。

議案第88号については、原案のとおり許可相当と意見決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全委員 (挙手)

議長 賛成全員であります。議案第88号は原案のとおり承認されましたので、許可意見を付して鹿児島県知事に書類を進達することに決定いたします。

次は、議案第89号「非農地証明願承認について」を議題とします。

事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹 議案第89号を説明いたします。資料は12ページをご覧ください。位置図・調査表につきましては、備考欄をご参照ください。

今月の申請は、20番及び21番の2件で、登記地目畑2筆331㎡の非農地証明願が申請されました。

内容といたしましては、20番は、平成29年に相続される以

前から耕作されておらず、管理が困難で防草シートを敷き、雑種地状態であり、今般、雑種地へ地目変更するための申請です。

21番は、平成16年頃に、車庫・倉庫を整備し、現在まで至っており、今般、宅地へ地目変更するための申請です。

従って、非農地証明書を添えて法務局において、地目の変更申請手続きによる登記官の現況判断で、農地以外の登記簿の地目変更が可能となるため、農地法第2条第1項に規定する農地では無いことを証明する当該証明願いが提出されたことにより、提案いたしました。

以上で、議案第89号に係る説明を終わります。

議長 　　ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、事前に申請地の現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

中島委員 　　8番　中島が、20番を報告します。

11月9日、梶原委員と事務局　杉安・長沼職員と現地調査を実施しましたので、報告します。

位置図13ページ、調査表12ページをご覧ください。

申請人が、平成29年に相続する以前から耕作されておらず、管理が困難であるため、防草シートを敷き、現況は雑種地となっております。

また、この申請地は、周囲にコンクリートブロックで囲まれ、同敷地内に、過去に住宅が建っていましたが、取り壊され、全ての敷地に防草シートが敷かれている状況です。

周辺農地等への影響もないことから、本市非農地証明書の発行基準を満たしており、証明書を発行すべきと考えます。以上です。

小園委員 　　16番　小園が、21番を報告します。

去る11月9日、山下委員と事務局　西職員と現地調査を実施しましたので、報告します。

位置図14ページ、調査表13ページをご覧ください。

平成16年頃から車庫・倉庫として整備し、現在に至っています。特に支障はないと思われれます。

周辺農地等への影響もないことから、本市非農地証明書の発行基準を満たしており、証明書を発行すべきと考えます。以上です。

議長 　　ただ今、調査員の報告が終わりました。
質疑に入ります。何か御質疑ございませんか。

委員・推進委員

(なしの声あり)

議長 ないようですので、採決いたします。

議案第89号については、原案のとおり処分決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全委員

(挙手)

議長 賛成全員であります。議案第89号「非農地証明願承認について」は原案どおり決定されました。

次は、議案第90号「農地法第3条の規定による農地等の所有権移転・売許可申請承認について」を議題とします。

事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹

議案第90号を説明いたします。資料は13ページから14ページをご覧ください。位置図・調査表につきましては、備考欄をご参照ください。

今月の申請は、受理番号110番から116番の7件で、田10筆9,519㎡、畑5筆4,385㎡、合計15筆13,904㎡の申請がありました。

申請理由は、譲受人の「規模拡大」、譲渡人の「労力不足」により、それぞれ売買されるものです。

113番は、相続手続き途中で、遺産分割協議書が添付されております。

申請内容を農地法第3条第2項各号に規定する、農地の取得要件について審査いたしました結果、機械力・労働力・技術力に係る全部効率要件、及び農作業従事日数、集団化、効率的且つ、総合的な利用に係る、地域調和要件の何れにも抵触しないと認められます。

従いまして、何れの申請地も農地以外の目的で売買されるものではありません。

以上のようなことから、申請は許可要件の全てを満たしていると判断し提案いたしました。以上で、議案第90号に係る説明を終わります。

議長

ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、申請地を事前に現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

木下委員

10番 木下が、110番を報告します。

調査日・調査員は先ほどのとおりです

位置図 15ページ、調査表 14ページをご覧ください。

申請地の現況は、田で耕作されており、取得後は、水稻を栽培予定です。

権利取得者は、規模拡大のための権利取得で、経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題はなく、申請は許可相当と考えます。以上です。

木場委員

7番 木場が、111番から113番を続けて報告します。

調査日・調査員は先ほどのとおりです。

111番は、位置図16ページ、調査表15ページをご覧ください。

申請地の現況は、田で耕作されており、取得後は、水稻を栽培予定です。

112番は、位置図17ページ、調査票16ページをご覧ください。

申請地の現況は、畑で耕作されており、取得後は、飼料用の甘藷を栽培予定です。

113番は、位置図18ページ、調査表17ページをご覧ください。

申請地の現況は、田で耕作されており、取得後は、水稻を栽培予定です。

権利取得者は、それぞれ、規模拡大のための権利取得で、経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題はなく、申請は許可相当と考えます。以上です。

中島委員

8番 中島が、114番及び115番まで続けて報告します。

調査日・調査員は先ほどのとおりです。

114番、位置図 19ページ、調査表 18ページをご覧ください。

申請地の現況は、畑で保全管理されておりました。

申請人は、この隣接地に農地を所有しており、蕎麦を栽培しています。

今回、この農地を取得後は、同様に蕎麦を栽培する予定です。

115番は、位置図 19ページ、調査表 19ページをご覧ください。

申請地の現況は、畑で保全管理されておりました。

権利取得後は、牧草を栽培予定です。

権利取得者は、規模拡大のための権利取得であり、経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題はなく、それぞれの申請は許可相当と考えます。以上です。

西 委員

15番 西が、116番を報告します。

11月9日、早崎推進委員と事務局職員 杉安・長沼と現地調査を実施しましたので、報告します。

位置図 20ページ、調査表 20ページをご覧ください。

申請地の現況は、畑で保全管理され、取得後は、飼料作物を栽培予定です。

権利取得者は、規模拡大のための権利取得です。

経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題はなく、申請は許可相当と考えます。以上です。

議 長

ただ今、調査員の報告が終わりました。

質疑に入ります。何か御質疑ございませんか。

委員・推進委員

(なしの声あり)

議 長

ないようですので、一括して採決いたします。

議案90号につきまして、原案のとおり意見決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全 委 員

(挙 手)

議 長

賛成全員であります。議案第90号は、原案のとおり許可することに決定いたします。

次は、議案第91号「農地法第3条の規定による農地等の所有権移転・贈許可申請承認について」を議題とします。

事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹

議案第91号を説明いたします。資料は15ページから17ページをご覧ください。位置図・調査表につきましては備考欄をご参照ください。

今月の申請は、受理番号117番から125番の9件で、登記地目 田16筆 14,818㎡、畑7筆 4,595㎡、合計23筆 19,413㎡の申請がありました。

申請理由といたしましては、いずれも「親子間」「知人間」等の贈与によるものです。

117番、120番、125番は、新規営農で営農計画書が添付されています。

申請内容を農地法第3条第2項各号に規定する、農地の取得要件について審査いたしました結果、機械力・労働力・技術力に係る全部効率要件及び農作業従事日数、集団化、効率的かつ総合的な利用に係る地域調和要件の何れにも抵触しないと認められます。

従いまして、いずれの申請地も農地以外の目的で贈与されるものではありません。

以上のようなことから、許可要件の全てを満たしていると判断し提案いたしました。

以上で、議案第91号に係る説明を終わります。

議長 　　ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、申請地を事前に現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

木下委員 　　10番 木下が、117番から119番を続けて、報告します。調査日・調査員は先ほどのとおりです。

117番は、位置図21ページ、調査表21ページをご覧ください。

申請地の現況は、畑で耕作・管理されておりました。

親からの贈与で、レモンを栽培予定です。

118番は、位置図22ページ、調査表22ページをご覧ください。

申請地の現況は、田で耕作されておりました。知人からの贈与で、水稻を栽培予定です。

119番は、位置図23、24ページ、調査表は23ページをご覧ください。

申請地の現況は、田2筆と畑5筆で耕作・管理されておりました。

親族からの贈与で、水稻及びらっきょうを栽培予定です。

権利取得者は、それぞれ、規模拡大のための権利取得で、経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題はなく、申請は許可相当と考えます。以上です。

乙須委員 　　11番 乙須が、120番を報告します。

調査日・調査員は先ほどのとおりです

位置図 25ページ、調査表 24ページをご覧ください。

申請地の現況は、田で耕作されておりました。知人からの贈与で、水稻を栽培予定です。

権利取得者は、新規営農のための権利取得で、経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題はなく、また、営農計画書も添付されております。

申請は許可相当と考えます。以上です。

中島委員

8番 中島が、121番及び122番まで続けて報告します。調査日・調査員は先ほどのとおりです。

121番、位置図 26ページ、調査表 25ページをご覧ください。

申請地の現況は、畑で保全管理されておりました。

知人からの贈与であり、権利取得後は、甘藷等を栽培する予定です。

122番、位置図 27ページ、調査表 26ページをご覧ください。

申請地の現況は、田で保全管理されておりました。知人からの贈与であり、権利取得後は、水稻を栽培する予定です。

権利取得者は、規模拡大のための権利取得であり、経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題はなく、それぞれの申請は許可相当と考えます。以上です。

小園委員

16番 小園が123番から124番を報告いたします。

調査日・調査員は先ほどのとおりです。

123番、位置図 28ページ、調査表 27ページをご覧ください。

申請地の現況は、田で管理されておりました。

124番、位置図 29ページ、調査表 28ページをご覧ください。

申請地の現況は、田で現在も耕作されておりました。

123番、124番、規模拡大の為の権利取得で、水稻を栽培する予定です。

経営意欲も高く、全部効率要件及び地域調和要件ともに問題はなく、それぞれの申請は許可相当と考えます。以上です。

磯道委員

17番 磯道が 125番を報告いたします。

去る11月2日 廣庭推進委員、下甌支所 小川職員と現地調査を行いましたので報告いたします。

位置図 30ページ、調査表 29ページをご覧ください。

申請地の現況について、2576番2の地目は畑で現在も耕作されておりました。

議 長 ないようですので、採決いたします。
議案第 9 2 号、受理番号 8 9 番から 9 1 番に係る議事参与案件は、原案のとおり意見決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全 委 員 (挙 手)

議 長 賛成全員であります。議案第 9 2 号、受理番号 8 9 番から 9 1 番に係る議事参与案件は原案のとおり意見決定いたします。
木場委員の入室をお願いします。

木場委員 (入室・着席)

議 長 議案第 9 2 号は、原案のとおり意見決定されましたので薩摩川内市長へ許可意見を付して書類送達することといたします。
次は、議案第 9 3 号「農用地利用集積計画案（農地中間管理権設定）の意見決定について」、農業経営基盤強化促進法第 1 8 条第 1 項に基づき市長部局より提出されましたので、当委員会の意見について審議を求めるものでございます。
事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹 議案第 9 3 号を説明いたします。資料は 2 1 ページから 2 4 ページをご覧ください。
今月の申請は、田 1,854 m²、畑 14,405 m²、合計 16,259 m²の申請がありました。
利用権設定 9 件中、認定農業者等に係る分は 8 件です。
申請内容を農地中間管理事業の推進に関する法律第 1 8 条第 5 項各号の規定に基づき農用地利用の配分計画を審査いたしました結果、申請は許可要件の全てを満たしていると判断し提案いたしました。以上で、説明を終わります。

議 長 ただ今、事務局の説明が終わりました。
質疑に入ります。何か御質疑ございませんか。

委員・推進委員 (なしの声あり)

議 長 ないようですので、一括して採決いたします。
議案第 9 3 号につきまして、原案のとおり意見決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全 委 員

(挙 手)

議 長

賛成全員であります。議案第93号農用地利用集積計画案（農地中間管理権設定）の意見決定については、原案のとおり意見決定されましたので薩摩川内市長へ許可意見を付して書類送達することといたします。

次に、先月審議保留にしておりました議案第77号農地法第5条の規定による農地等の賃借権権設定許可申請承認について（保留分）と議案第82号農地法第3条の規定による農地等の地上権設定許可申請承認について（保留分）」を関連がありますので、一括して議題とします。

事務局の内容説明をお願いします。

梶原主幹

保留となっておりました、議案第77号及び82号につきましてご説明させていただく前に、先に当委員会で意見決定をし、県に進達しておりました7件の転用申請の結果が11月15日付で全て許可がおりました。

保留になった理由としましては、下部で蕎麦を栽培するという事についての地権者の意見書が提出されておりましたが、蕎麦を作っている方からの意見書だったという事で、下部で本当に蕎麦が作れるのか、という事で根拠が薄いとの補正がございまして何度か県と申請者とのやり取りをしながら補正を出していき、最終的には県の職員であった方が意見書を作成して県に提出して、下部での営農が妥当だろうとの事で11月15日に許可がおりたところでございます。

許可がおりましたので今回保留の案件を審議させていただくという事で提案させていただいておりますので、説明をさせていただきます。

議案第77号97番、98番、100番及び議案第82号について説明いたします。資料は25ページから27ページをご覧ください。位置図・調査表につきましては備考欄をご参照ください。

議案第77号97番、98番、100番の申請は、登記地目 田7筆5.71㎡の申請がありました。

申請理由といたしましては、営農型太陽光発電施設のための一時転用です。太陽光パネルは、3件とも156枚、引込柱1本となっています。

農地利用状況調査で荒廃農地の判定をしているので、一時転用

の更新は10年となります。

また、営農計画では、ソバを栽培する予定であり、2.0mの高さが確保されて、農機具で作業ができない箇所は、人力で作業することとなっています。

栽培するソバであるため、畦畔や土側溝を作る対策を図ることとしています。

続いて、議案第82号について説明いたします。受理番号106番から109番までの4件で、登記地目 田7筆 3,818㎡の申請がありました。

申請内容は、先ほど説明した営農型太陽光発電施設の一時転用に伴う区分地上権設定であります。

設定期間は、転用許可後10年間。地上2.6mから3.6mのパネル設置空間に対する区分地上権です。

地上権のうち、区分地上権は、農地法第3条第2項ただし書に規定する農作業従事要件、全部効率要件は対象外となります。

議案第77号97番、98番、100番及び議案第82号は、申請内容を転用許可法令一般基準、各項による書類審査及び現地調査を行い提案いたしました。

以上で、議案第77号97番、98番、100番及び議案第82号に係る説明を終わります。

議長 　　ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、申請地を事前に現地調査を行っていますので、調査員の報告をお願いします。

山路委員 　　14番 山路が、議案第77号97番及び100番、議案第82号106番、107番、108番を報告します。

去る、10月6日、馬渡推進委員と事務局職員 梶原・中城職員と現地調査を実施しましたので、報告します。

議案第77号97番及び100番は、位置図31ページ、33ページ、調査表30ページ、32ページをご覧ください。

議案第82号106番、107番、108番は、位置図31ページ、33ページ、調査表33ページから35ページをご覧ください。

前回、合同会社伊佐ファームが使用貸借権と設定した農地に、営農型太陽光発電施設の一時転用申請がなされたものです。

なお、区分地上権を設定するため、議案第82号106番から108番と同時申請分です。

パネル156枚 引込柱を設置するもので、一時転用分は、引込柱面積0.015㎡ パネル柱面積1.860㎡の計1.875㎡になります。

現地の状況は8月にも調査しましたが、当時と同様荒廃農地です。一時転用の期間は、荒廃農地を活用する場合、10年間の更新となり、継続して適切な営農を行うことが条件となります。

申請書に添付してあります被害防除計画書には妥当性があると考えます。

また、区分地上権について、許可後10年間 パネル156枚にいて地上2.6mから3.6mにパネル設置するものです。

全部効率要件及び地域調和要件は、区分地上権には関係ありません。

従いまして、議案第77号97番及び100番及び議案第82号106番から108番は、許可相当と判断しました。以上です。

梶原委員 18番 梶原が、議案77号第98番及び議案第82号109号を報告します。

去る、10月6日、高木推進委員と事務局職員 杉安・田上 職員と現地調査を実施しましたので、報告します。

議案第77号98番は、位置図32ページ、調査表31ページをご覧ください。

議案第82号109番は、位置図32ページ、調査表36ページをご覧ください。

前回、合同会社伊佐ファームが使用貸借権と設定した農地に、営農型太陽光発電施設の一時転用申請がなされたものです。

なお、区分地上権を設定するため、議案第82号109番と同時申請分です。

パネル156枚 引込柱を設置するもので、一時転用分は、引込柱面積0.015㎡ パネル柱面積1.860㎡の計1.875㎡になります。

現地の状況は8月にも調査しましたが、当時と同様荒廃農地です。一時転用の期間は、荒廃農地を活用する場合、10年間の更新となり、継続して適切な営農を行うことが条件となります。

申請書に添付してあります被害防除計画書には妥当性があると考えます。

また、区分地上権について、許可後10年間パネル156枚にいて地上2.6mから3.6mにパネル設置するものです。

全部効率要件及び地域調和要件は、区分地上権には関係ありません。

従いまして、議案第77号98番及び議案第82号109番は、許可相当と判断しました。以上です。

議長 　　ただ今、調査員の報告が終わりました。
質疑に入ります。何か御質疑ございませんか。

中島委員 　　8番　中島です。一時転用という事で10年の期限を設けられて、
このまま20年とか継続は出来ると思うのですが、この申請者の
方が撤退をするとなつたときに原状復帰をするという確約書はあ
るのでしょうか。

梶原委員 　　一応、転用申請に撤去費用も含めて計上していただいております。
もし、上のパネル設置者の都合で撤去する場合はパネル設置者が
撤去するように申請書に記載されております。
許可書の備考欄にもそのように記載されております。

議長 　　他にございませんか。

委員・推進委員 　　（なしの声あり）

議長 　　ないようですので、初めに議案第77号保留分について採決いた
たします。原案のとおり処分決定することに賛成の方の挙手を求
めます。

全委員 　　（挙　手）

議長 　　賛成全員であります。議案第77号保留分は、原案のとおり承
認されましたので、許可意見を付して鹿児島県知事に書類を進達
することに決定いたします。

次に議案第82号保留分について採決いたします。原案のと
おり処分決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全委員 　　（挙　手）

議長 　　賛成全員であります。議案第82号保留分は、原案のとおり許
可することに決定いたします。

議長 　　ただ今、事務局の説明が終わりました。ここで、申請地を事前に
現地調査については、議案第77号で報告いただいておりますので、
かつあいいたします。

質疑に入ります。何か御質疑ございませんか。

委員・推進委員

(なしの声あり)

議長 ないようですので、議案第82号について、原案のとおり処分決定することに賛成の方の挙手を求めます。

全委員

(挙手)

議長 賛成全員であります。議案第82号は、原案のとおり許可することに決定いたします。

議長 以上で本日の議案の審議は、全て終わりました。
次は、会次第7のその他に入ります。

(1) 12月の申請等現地調査及び総会の日程について事務局の説明をお願いします。

局長代理

続きまして、11月行事予定(案)について説明いたします。
お手元に配付しております行事予定(案)をご覧ください。

まず、現地調査ですが、11日(月)が本土川内地域、8日(金)が本土4支所の予定です。調査員は記載のとおりです。

また、議案提出状況により調査コース、時間等の調整を事務局で行い連絡いたします。甌地域におかれましても、同様に調整をお願いします。

本庁班は、午前8時10分までに農業委員会事務局にご集合ください。

支所班は、各支所で集合解散とし、いずれも午前中までには終了予定です。

それから、下段に記載の12月総会は12月25日(月)午後1時から、次回は、樋脇公民館を予定しています。

裏面は12月から2月の行事予定を記載してあります。

その他の行事は今後の予定等にお役立てください。

議長 ただ今、事務局の説明が終わりましたが、この件についてご質問、ご意見等はございませんか。

委員・推進委員

(なしの声あり)

議長 そのほかに、事務局から何かございませんか。